そてつ

令和５年１月３１日
学校だより　２月号
NO．５９２
杉並区立三谷小学校

地域ではぐくみ、世界へ巣立つ三谷の子

副校長　菅野　至

令和４年度も残すところ、あと２ヶ月になりました。毎年のことになりますが、年が明けてからの３学期は、実際の日にちも短いうえに、進学や進級にむけての準備期間での気持ちの高揚感も手伝って、あっという間に一日一日が過ぎていってしまう印象があります。２月の児童の登校日は20日間、３月は17日間（６年生は18日間）となり、今年度は合わせて37日（38日）で終わります。子どもたちには、充実した毎日を過ごしてほしいと願っています。

先日、１月21日（土）に三谷小学校の地域の方々によって運営されている「三谷伝統文化子ども教室」の発表会がありました。最近は、新型コロナウィルスの影響で発表会ができず、久し振りの開催でした。体育館では、琴とお囃子の演奏を行い、児童と保護者１００人ほどが集まりました。１年間の成果を多くの人たちに見てもらう機会を再開することができ、本当によかったと思います。また、児童の生け花の作品が校舎内の廊下と昇降口に１週間ほど飾られ、通る人たちの目を楽しませてくれました。すべての演奏、作品に、一人ひとりの気持ちがこもっていて、すばらしかったです。

各教室前の廊下には、学校の書写の学習の発表でもある書き初めが飾られました。新年の行事として平安時代から続いている書き初めですが、１年のはじめにみんなで緊張感をもち集中して字を書く経験も、子どもたちにとっては貴重な経験となるでしょう。

国際的に活躍できる人材を育てることは、学校教育の大きな目標の１つです。今後は、よりグローバル化が進み、様々な人々とつながりやすくなる社会となっていきます。そのような世界で活躍していくためには、まず、子どもたちが日本文化のよさを理解し、その上で異なる言語や文化、価値を乗り越えていくことが大切です。三谷小学校で地域の方の力をお借りして続いている伝統文化子ども教室はまさに、今の教育に欠かせないものとなっています。

また、日本人は外国の方に比べて、表現したり、発信したりすることが苦手だと言われてきました。全身で日本の伝統文化を体験し、感じてきた子どもたちは、そのよさを発信したり、表現したりする力も身に付いているはずです。

学校目標でもある「地域ではぐくみ、世界へ巣立つ三谷の子」を目指し、今後も様々な方と協力し、支え合いながら進んでいきたいと考えています。

令和４年度　教育調査 結果

保護者対象

回収率　７０．０％

No.	観点	保護者に対する質問内容	肯定	やや肯定	どちらでもない	やや否定	否定	回答不能	R４肯定率（%）	R３肯定率（%）
1	学校生活全般	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	101	177	75	13	3	1	75.1	75.3
2	小中一貫教育	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	42	98	103	31	21	75	37.8	31.1
3	学校評価	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	71	136	105	21	8	29	55.9	56.5
4	学級経営	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	120	152	69	14	12	3	73.5	78.1
5	学習成果の実感	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	68	152	115	25	5	5	59.5	65.9
6	学習評価	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	84	155	106	14	6	5	64.6	73.3
7	ICT機器活用	学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	124	131	62	23	11	19	68.9	75.5
8	道徳教育	子どもは、学校での生活を通じて、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	115	158	75	19	2	1	73.8	78.8
9	体育・健康教育	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	153	145	61	9	1	1	80.5	83.6
10	教育相談体制	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	68	107	111	34	11	39	47.3	50.5
11	いじめ対策	いじめや不登校などに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる。	50	97	108	29	15	71	40.0	41.4
12	特別支援教育（理解・啓発）	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	42	98	116	29	14	71	37.8	35.4
13	特別支援教育（交流・共同学習）	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	25	49	90	32	42	132	20.0	17.3
14	地域との協働	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	110	147	79	21	5	8	69.5	66.3

今年度も紙ではなくFormsを使ってご回答いただきました。回収率は70%（昨年86.1%）と昨年よりも低くなりました。今年度から学年、学級を入力する欄がなくなったことも回収率が低くなった一因かと考えています。

全体的には昨年度と同様の結果となりました。「体育・健康教育」については、今年も80.5%と高い評価をいただきました。縄跳びや持久走など運動タイム等で継続して体力づくりを行っていることや、運動会での子どもたちの姿から、本校の体育・健康教育に対する取り組みをご理解いただけたものと考えます。休み時間の外遊びも今年度途中からは全校で実施するようになったことなど、少しずつ子どもたちが体を動かす機会が増えてきています。今後も本校のよい伝統として、食育も含めた取り組みを継続していきます。「ICT機器活用」に関して、児童の肯定率は85.5%に対し保護者は68.9%と低くなっています。学校公開は行いましたが、決められた枠の中での参観だったこともあり、ICT機器がどのように使われているかを知る機会が十分ではなかったことや、タブレットの活用についても保護者の皆様への説明が不十分だった点があります。学校全体でさらなる活用をすすめていきます。

ほとんどの項目で「どちらでもない」と回答した方が多くいらっしゃったことから、情報発信の不足を感じました。来年度はHPや学校だよりなどでの発信とともに、保護者会や学校公開の際に、少しでも多くの方に学校に来ていただき、子どもたちの様子を実際に見ていただく機会を増やすこと、教職員と保護者の皆様が対面で話をする機会が多くなるよう努力していきます。そして何よりも、子どもたちが毎日元気に登校する姿が保護者の皆様の安心につながるよう、きめ細かな指導を続けていきます。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

児童対象

No.	観点	児童に対する質問内容	肯定	やや肯定	どちらでもない	やや否定	否定	回答不能	R４肯定率（%）	R３肯定率（%）
1	学級経営	先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	259	141	49	10	13	24	80.6	77.5
2	学習の個性化	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	124	160	116	41	24	31	57.3	54.5
3	学習の個別化	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	126	132	105	52	46	35	52.0	60.0
4	探求の学び	授業では、自分の興味に基づいて問いや課題をたてて学んでいる。	136	148	91	51	29	41	57.3	53.2
5	協働的な学び	授業では、自分が必要なときに、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	225	147	57	32	9	26	75.0	82.2
6	学習成果の実感	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	296	115	43	21	11	10	82.9	77.5
7	学習評価	先生は、授業で自分ができたことを褒めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	235	149	51	22	23	16	77.4	76.6
8	ICT機器活用	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	355	69	30	9	10	23	85.5	84.6
9	系統的・連続的指導	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	200	153	64	31	19	29	71.2	71.7
10	道徳教育	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	210	135	79	29	18	25	69.6	67.1
11	体育・健康教育	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	260	139	50	21	12	14	80.4	64.9
12	読書活動	学校や家などで、一か月間に本、新聞、雑誌、調べものをするための資料などを読んだ。	読んだ	３９３		読んでいない	１０３		79.2	
13	地域行事	地域の行事に参加している。	139	104	80	41	78	54	49.0	40.0
14	地域との協働	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	194	131	78	29	24	40	65.5	51.4

昨年は児童へのアンケートは３年生以上で行いましたが、今年度から全学年での実施となりました。１・２年生は初めてのアンケートでしたので紙で行い、３年生以上はタブレットを使ってFormsで行いました。

対象学年が違っていますので昨年度と単純に比較することは難しいのですが、学級経営や学習成果の実感などの項目で肯定率が80%を超えたことは、大変うれしく思います。「学校に来ることが楽しい、学級が安心して過ごせること」が何よりも重要だと思いますので、今後も安心して学べる環境づくりに力を入れていきます。一方でこれらの項目に対して「やや否定、否定」と回答した児童がいることはしっかりと受け止め、児童一人ひとりの自信を深めさせることができるよう、気を配っていきます。また、「学習の個性化」「探求の学び」「協働的な学び」など、新しい学力観に基づく授業づくりを意識しながら日々の授業をすすめていますが、子どもたちの実感としては肯定率があまり高くはありません。今後も、児童が自分で課題を立てる学習を多くしたり、どんな方法で調べていくのかを自分で選択したりする場面をこれまで以上に増やしていくようにします。

この表には表れていませんが、全体を通して高学年になるにつれて肯定率が低くなる傾向が見られました。成長するにつれて自分をしっかりと見つめることができるようになるという側面もありますが、自己肯定感が低くなっているということも事実です。教員から見ると高学年として立派に活動しているように見えている子どもたちも、心の中では自信がなかったり悩んでいたりすることがわかります。学校生活の様々な場面で、前向きな声掛けをしたり活躍の機会を増やしたりすることで、自信をつけさせたいと思います。

今後も保護者の皆様、地域の皆様のご協力をいただきながら、充実した教育活動を実施できるようにしていきます。

２月の行事予定

1	水	全校4時間授業 短縮時程	15	水	さんや放課後学習スペース（2・3年）短縮時程
2	木	安全指導日（1・3・6年） 箏授業（4年）	16	木	
3	金	安全指導日（2・4・5年） 糸車（1年） SC	17	金	社会科見学（4年） SC
4	土	第10回土曜授業日（通常授業） 短縮時程 学校運営協議会	18	土	
5	日		19	日	
6	月	児童朝会	20	月	全校5時間授業
7	火	ちひろ美術館（3年１組）5・6校時	21	火	読み聞かせ（4.5.6年） たてわり班活動
8	水	全校4時間授業 短縮時程	22	水	クラブ活動 東京女子大学連携授業（5年） さんや放課後学習スペース（2・3年）短縮時程
9	木	理科出前授業（4年）	23	木	天皇誕生日
10	金	全校5時間授業 持久走週間終（1/30～2/10）	24	金	児童集会 保護者会（1・2年） プロフェッショナル（6年）
11	土	建国記念の日	25	土	
12	日		26	日	
13	月	児童朝会 読書週間始（17日まで） 箏授業（5年） ちひろ美術館（3年３組）1・2校時	27	月	児童朝会 保護者会（3・4年）
14	火	読み聞かせ（1・2・3年）幼保小交流（2年） ちひろ美術館（3年２組）3・4校時	28	火	保護者会（5・6年） ブックトーク（1年） 野草園（4年）

※２月の避難訓練は、<日時予告なし>での避難訓練のため、行事予定に掲載していません。
※SC（スクールカウンセラー）への連絡は、相談室直通（３３９０－０５４１）へお電話ください。
※学校運営協議会は傍聴できます。ご希望の方は、前日までに副校長にご連絡ください。

＜第１０回土曜授業日について＞
全校３時間授業。１１：３０最終下校。給食なし。
２月４日（土）は、第１０回土曜授業日は通常授業の予定です。授業参観はありません。

さんや教室とは？

西校舎の２階にあるさんや教室は特別支援教室です。では、さんや教室は何をするところかご存じですか。少人数での活動を通じて、一人ひとりの子どもが、安心して学校生活を送ったり自分に適した学習方法を見つけたりするところです。苦手なことをできるようにするという観点からだけではありません。どうすればできるか、周りの環境調整をどのようにすればいいのかなど、クラスでの支援につなげられるようにしています。

自分の考えを伝えることが苦手な児童に対しては、発言の練習を積み重ねるだけではなく、事前にどのように準備をすればいいのか、どのような質問なら答えやすいのかなど、個性に合わせたアイデアを考えています。学級の様子を担任とも共有しながら、一人ひとりの成長をサポートしています。お子様の生活や学習の様子で気になることがありましたら、いつでも担任もしくは特別支援教育コーディネーターにご相談ください。